

産業廃棄物処理業務をスマート化しませんか

「循環経済は国家戦略」として位置付けられている今、その推進には、排出事業者の動脈産業と産業廃棄物処理業者などの静脈産業との連携が欠かせません。

このような社会の動きに適応し乗り遅れないようにしていくには、取引先や社会のニーズを踏まえ、製品やサービスの提供などのビジネススタイルを変えていくことも必要になってきますが、この人手不足の中、いかに効率的に業務を進めていくかは、経営者にとって大きな課題です。

AI・IoT・クラウドなどのデジタル技術を活用して、廃棄物の発生～収集～運搬～処理までをデータで管理するなどにより業務をスマート化することは、効率化・省人化・安全性向上の実現のみならず脱炭素という環境的側面からも有効な手段となりえます。

廃棄物処理業務のスマート化を進めるための第一歩として、電子契約や、顧客や実績などの管理業務について、具体的な導入事例と併せて、その効果や今後の動向などについてご紹介します。

また、取引先からの信頼を得るための重要なステップとなる品質マネジメントシステム ISO9001 の認証は、製品・サービスの品質と顧客満足を実現するための国際標準です。本業界において、すでに普及している ISO14001 との統合認証により、本業の事業パフォーマンスの向上につながる事例をご紹介します。

排出事業者から選ばれる産業廃棄物処理業者となるための機会として、是非、ご参加ください。

日 時： 令和 8 年 3 月 13 日(金) 14:00～15:30 (13:30 開場)

会 場： 京都経済センター 6階 6-A 会議室
京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地

定 員： 30 名 (事前申込・先着順)

参加費： 無料

共 催： (公益社団法人 京都府産業資源循環協会
一般社団法人 京都府産業廃棄物 3R 支援センター)

プログラム

- | | |
|-------------|---|
| 14:00 | 開会 |
| 14:00～15:00 | 講演「 廃棄物処理業務におけるデジタル化の導入と推進 」
weee 株式会社 代表取締役 CEO 宗 大介 様
まずは取り組みやすい業務のデジタル化の具体的な導入事例を踏まえ、その必要性やメリットを紹介します |
| 15:00～15:30 | 講演「 産業廃棄物処理事業における ISO14001 と ISO9001 の統合認証のすすめ 」
3R 支援センターコーディネーター 天野 輝芳 様
今後の産業廃棄物処理業のあり方を考える上で必要となる ISO9001 とすでに普及している ISO14001 との統合認証による具体的事例を紹介します |

お申し込み先

一般社団法人 京都府産業廃棄物 3R 支援センター
〒600-8009 京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町 78 番地 京都経済センター 4 階
電話 075-352-0530 メール info@kyoto-3rbiz.org

お申し込みは、企業名、お名前、連絡先メールアドレスをご記入の上、令和 8 年 3 月 6 日迄に、当センターのメール info@kyoto-3rbiz.org へお送りください。